



玖波中だより

第8号



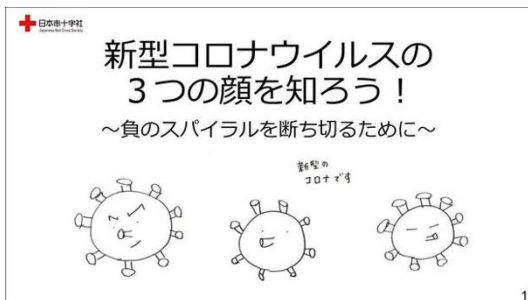
大竹市立玖波中学校 令和2年9月8日

学校教育目標 「自他を大切にし、主体的に考え行動できる生徒の育成」

発行責任者 吉岡 透 文責 安達 正泰

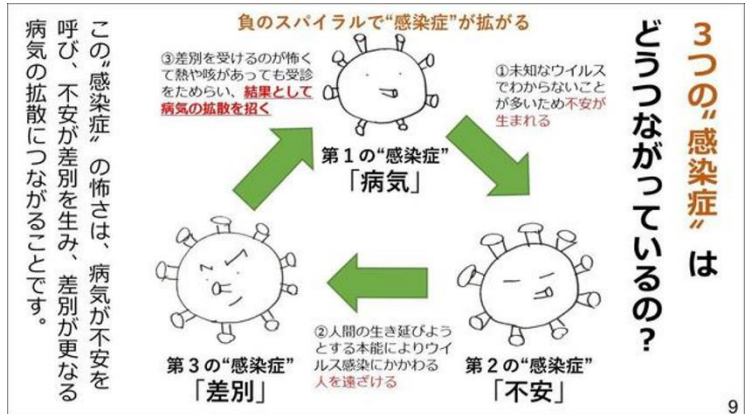
2学期スタート こんなときこそ、周りの人にやさしく！

9月1日(火)に始業式があり、2学期がスタートしました。校長先生からは、「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう」としてお話がありました。



新型コロナウイルスが怖いのは、「3つの“感染症”」という顔。

- ①第1の“感染症” 「病気そのもの」
- ②第2の“感染症” 「不安と恐れ」
- ③第3の“感染症” 「嫌悪・偏見・差別」



これら3つの“感染症”が、右の図のようにつながり、負のスパイラルとなって“感染症”が広がってしまうのが、このウイルスの怖さ。

それぞれの感染を防ぎ、負のスパイラルを断ち切るために…

- ①第1の“感染症” 「病気そのもの」を防ぐ
一人一人が衛生行動を徹底する！

「手洗い」「咳エチケット」「人混みを避ける」…自分のためだけではなく、周りの人のためにも

- ②第2の“感染症” 「不安と恐れ」に振り回されない

気づく力を高める！ 立ち止まって一息。今の状況を整理。自分自身をいろいろな角度から観察。

聴く力を高める！ ウイルスの悪い情報ばかりに目が向いていないか。何かと感染症に結びつけていないか。

- ③第3の“感染症” 「嫌悪・偏見・差別」を防ぐ

自分を支える力を高める！ 自分の安全や健康のために必要なことを見極め、自ら選択しよう。

ウイルスに関する情報を制限し、距離を置く時間を作る。いつもの生活習慣やペースを保つ。

今自分ができていることを認める。今の状況だからこそできることに取り組む。「確かな情報」を詰め、差別的な言動に同調しない。この事態に対応しているすべての方々にねぎらい、敬意を払いましょう。

このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう。そして、こんなときだからこそ、当たり前なのに感謝し、誰も排除しない、されない、人に優しく、隣人を思いやる学校・学級にしていきたいと思います。

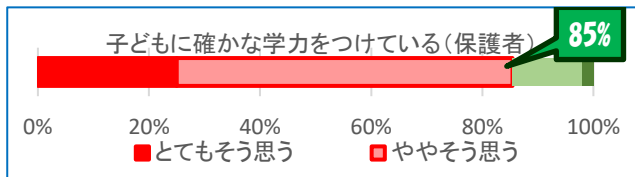
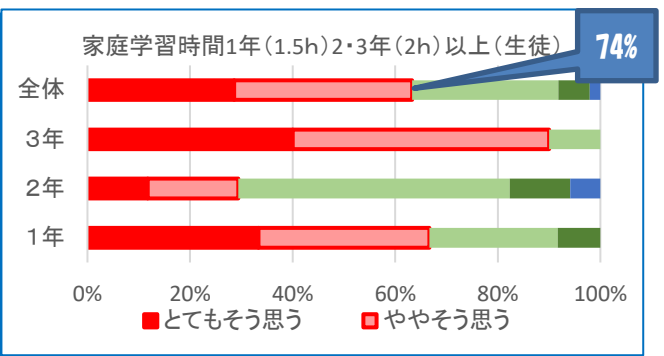
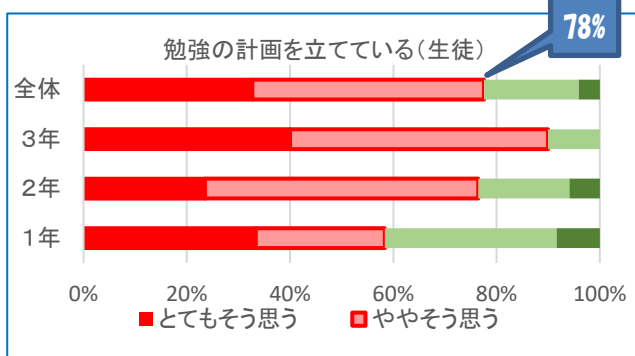
学校評価～本年度上半期の取組を振り返って～

学校評価のためのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。生徒、保護者、地域の皆様にご協力いただいたアンケート結果をもとに、本年度前半の取組を振り返りました。本年度の目標の3つの大きな柱「確かな学力の育成」「豊かな心と健やかな体の育成」「信頼される学校の創造」いずれについても、評価指標として設定した目標値に届かない項目がありました。それぞれ具体的な改善策に取り組み、2学期末に行うアンケートでは、目標値を上回ることができるよう、教職員一丸となって生徒とともに頑張ります！

確かな学力の育成

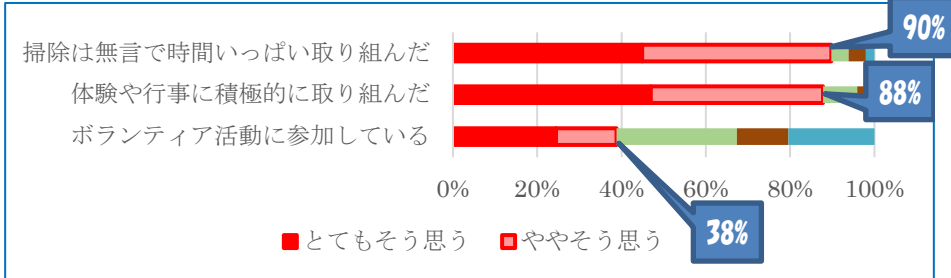
「主体的な学びのある授業づくり」について、生徒アンケートの肯定的回答結果は、「授業内容が分かりやすい」が96%、「協働作業によって学習が深まっている」が86%と、目

標数値(いずれも 80%)を上回りました。今年度は感染防止の観点から、以前ほどの回数でペア・グループ活動を行うことはできていませんが、その質を高め、生徒の主体的で深い学びへとつなげていきたいと思ひます。



グラフにあるように、生徒の「計画を立てて勉強しているか」、「一定時間以上家庭学習に取り組んでいるか」、という質問項目について、肯定的回答の目標値 80%には及びませんでした。昨年度より 6~7 ポイント向上しました。学年ごとに見ると、どちらも目標値を上回った3年生に対し、1年生は「計画」、2年生は「時間」に課題が見られました。2学期からは、1年生は帰りの SHR における班での確認活動、2年生は家庭学習時間強化週間等の取組により、改善につなげていきます。保護者の皆様もぜひ「学習プラン」をご覧になり、家庭学習が計画・時間の面でも順調にすすむよう、励ましの言葉をかけていただければと思ひます。

生活面に関する生徒アンケートでは、「無言清掃」に関して 90% (目標 80)、「体験活動や生徒会活動などに主体的に取り組んだ」が 88% (目標 85) との結果でしたが、「ボランティア活動」は 38% でした。今年度は感染防止の観点から、学校行事の中止・縮小・延期等があり、例年生徒がボランティアとして参加していた地域行事も多くが中止となりました。その中で学校では、代替となる行事や体験活動を行ってきました。これからも、どうすれば安全にできるかを生徒とともに考えながら体験的な行事・活動の機会をもつと同時に、校内ボランティア活動をする機会を生徒会執行部が中心となって考え、工夫・実施していく予定です。



豊かな心と 健やかな体の育成

生活面に関する生徒アンケートでは、「無言清掃」に関して 90% (目標 80)、「体験活動

や生徒会活動などに主体的に取り組んだ」が 88% (目標 85) との結果でしたが、「ボランティア活動」は 38% でした。今年度は感染防止の観点から、学校行事の中止・縮小・延期等があり、例年生徒がボランティアとして参加していた地域行事も多くが中止となりました。その中で学校では、代替となる行事や体験活動を行ってきました。これからも、どうすれば安全にできるかを生徒とともに考えながら体験的な行事・活動の機会をもつと同時に、校内ボランティア活動をする機会を生徒会執行部が中心となって考え、工夫・実施していく予定です。

1 学年宿泊研修の代替としての宮島体験学習

2 学年職場体験学習の代替としての職業出前学習



信頼される学校の創造

生徒が安心して過ごせる学校づくりを目指し、定期的な教育相談やスクールカウンセラーを交えた担当者会等に取り組んでいます。その結果、83%の生徒が玖波中の先生と話がしやすいと答えており、今後も生徒一人一人の課題に丁寧に向き合い、生徒の成長に組織的に取り組む教職員集団を目指します。また、「情報公開に関する満足度」について、保護者・地域ともに90%を超える肯定的評価をいただき、「保護者・学校教育満足度」が 92%、「地域・連携は円滑」が 95%と数値的に高い評価を得ることができました(地域アンケートにおいて、今年度は行事の中止等から「わからない」との回答を多くいただきましたが、集計には含めておりません)。体育祭・文化祭は中止となっておりますが、今後も学校教育活動のもち方を工夫し、可能な範囲で保護者・地域に公開することで、生徒の成長の様子を保護者・地域の方に見ていただいと考へています。今後とも、ご協力よろしくお願ひいたします。

お願ひ

玖波中学校だよりの中で、生徒・保護者の写真や名前を掲載させていただくことがあります。また、学校だよりは学校のHP (ホームページ) にも掲載いたします。文中の写真や名前の掲載を望まれない方は、その旨、学校までお知らせください。